

2018年7月理事会議事録

日 時：2018年7月28日（土）14：00～15：30

場 所：日本考古学協会事務所

出 席：谷川章雄・近藤英夫・矢島國雄・植田 真・大島直行・小笠原永隆・小澤正人・河村好光・佐々木和博・佐々木憲一・関根達人・谷畑美帆・都築恵美子・中嶋郁夫・萩野谷 悟・堀内秀樹・松崎元樹・馬淵和雄・長瀬 衛、監事：橋本裕行、（事務局：林 純子・堀田菜摘子）

欠 席：菊池誠一・佐古和枝・杉井 健・滝沢 誠・宮里 修・唐澤至朗

進 行：小澤正人

議 長：谷川章雄

小澤理事から、本日の出席者は20名で過半数に達しており、本理事会が成立することが報告され、議事に入った。

会員の訃報について

小澤理事から、香川県の六車 功会員が2017年8月14日、福井県の森川昌和会員が2018年6月18日に亡くなられたとの報告があり、哀悼の意を表した。

議案第488号 百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産推薦に関する見解（案）について

杉井理事・滝沢理事が欠席のため矢島副会長から、陵墓関係16学協会では、百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録に関して、構成資産の保存・公開、及び構成資産の陵墓となっている古墳の名称についての見解の表明を検討しており、現段階での見解表明に賛同する学協会が連名で見解を提出する予定であるとの説明があり、案文が提示された。審議の結果、日本考古学協会としては見解表明に賛同することを承認した。

議案第489号 文化財保護法及び地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正についての意見（案）について

松崎理事から、これまで文化財保護法の改定については、文化庁文化審議会文化財分科会企画調査会による中間まとめへのパブリックコメントの提出や「文化財の確実な継承に向けたこれからの時代にふさわしい保存と活用の在り方について（第一次答申）」への意見表明などを行ってきた。本年の第196回国会において、文化財保護法及び地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律が成立し、2019年4月1日から施行されることを受けて、改めて懸念事項を示し留意を求める意見表明を行いたいとの説明があり、藤沢委員長を中心に埋蔵文化財保護対策委員会で作成した案文が提示された。近藤副会長からも案文内容について補足説明があり、審議の結果、案文については理事会での意見を受けて修正し、改めてメール審議の上、公式サイトや会報等に掲載して意見表明を行うこととなった。

議案第490号 入会審査について

植田理事から、2019年度新入会員（正会員・賛助会員）の入会資格審査日程、並びに入会資格審査委員候補者案の提示があり、原案通り承認した。

議案第491号 日本考古学協会賞選考委員について

関根理事から、日本考古学協会賞選考委員について、①理事会からは近藤副会長と機関誌担当の関根理事が担当すること、②会員からは4名の委員候補者の推薦があり、原案通り承認した。また、日本考古学論文賞が創設されたこともあり、申込様式を整理し、これまでの「応募・推薦書」と「申込書」を、「応募申込書」として纏めたとの説明があった。

議案第492号 退会の承認について

佐々木和博理事から、神奈川県のみ会員、滋賀県のみ会員、香川県のみに会員の3名から2018年度をもつての退会届が提出されている旨の報告があり、退会を承認した。また、未納会費のある会員から提出された退会届けについては、未納額を納入してからの退会承認とすることとし、未納額の納入を求める。

報告第656号 2018年度静岡大会について

中嶋理事から、2018年度静岡大会時の理事役割分担（案）の説明があり、了承した。

報告第657号 第84回総会の収支報告について

都築理事から、第84回総会実行委員会から提出された収支報告書が提示され、了承した。

報告第658号 賛助会員の対応について

大島理事から、正会員・各賛助会員の特典について改めて確認があり、賛助会員との繋がりについて今後の方針を検討していくとの説明があった。また、各理事に会員募集の広報活動が求められた。

報告第659号 将来構想検討小委員会報告

矢島副会長から、7月15日（日）に小委員会を開催し、総会における現金での会費納付について、危機管理上の課題から、2019年度の第85回総会から取扱いを廃止する方向で検討を進めたとの報告があった。なお、実施にあたり、会費納付の利便性を高めるため、会費専用銀行口座を開設する予定である。なお、総会での会費取扱い廃止により運営資金不足となる事態が懸念されるが、前納率を高めるための広報活動の徹底等で対応する。また、本件は9月理事会に議案として提出する予定であるとの説明があり、了承した。

報告第650号 災害対応委員会報告

近藤副会長から、平成30年7月豪雨及び大阪府北部地震について、各会員の無事が確認されたこと、また各災害による文化財の被害について説明があり、災害対応委員会としては引き続き情報収集に努めるとともに、今後の対応を検討していくことが報告され、各理事に情報提供が求められた。

報告第661号 陵墓報告

杉井理事・滝沢理事が欠席のため矢島副会長から、①7月13日（金）に宮内庁との陵墓懇談を行い、14学協会22名が参加した。②懇談に先立ち、明治大学博物館体験学習室において全体会議を行い、今年度の運営委員会の役割分担、及び本年度の陵墓保全整備工事、百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産推薦に関する見解表明等について協議したとの説明があり、了承した。

報告第662号 国際交流委員会報告

佐々木憲一理事から、7月1日（日）に2018年度第1回委員会を開催し、①英文ホームページに掲載する英文コンテンツについて、「発掘された日本列島2018」展より掲載する遺跡を選択、決定した。②今年度の「第12回アジア考古学四学会合同講演会」は「貨幣の世界」（仮）をテーマに、2019年1月12日（土）に早稲田大学において開催する予定であるとの報告があり、了承した。

報告第663号 研究環境検討委員会報告

堀内理事から、6月30日（土）に委員会を開催し、①近年の活動内容が報告され、課題の協議にあたり今後は他委員会との連携を深める方向性で検討した。②認定考古士については、文化庁が進める資格（研修）制度もあることから、状況の推移を見守る方針で、今後の対応を協議した。③2018年度静岡大会におけるポスターセッションについて協議したとの報告があり、了承した。

報告第664号 英文機関誌編集委員会報告

佐々木憲一理事から、「査読英文誌掲載を目指す論文執筆」のワークショップを、10月22日（月）に明治大学において開催するとの説明があり、了承した。

報告第665号 広報委員会報告

本報告については、台風接近に伴い、9月理事会で報告を受けることとなった。

報告第666号 協会設立70周年記念事業小委員会報告

本報告については、台風接近に伴い、9月理事会で報告を受けることとなった。

報告第667号 埋蔵文化財保護対策委員会報告

本報告については、台風接近に伴い、9月理事会で報告を受けることとなった。

報告第668号 奈良文化財研究所新庁舎竣工記念式典報告

矢島副会長から、6月20日（水）に奈良文化財研究所の新庁舎竣工記念式典に会長代理として出席したとの報告があった。

報告第669号 第5回南部学研究会の後援依頼について

長瀬常務理事から、青森県南部町教育委員会から「第5回南部学研究会」の後援依頼が

あり、名義の使用を承認するとの報告があり、了承した。

報告第670号 大倉幕府跡問題についての連続フォーラムの後援依頼について

長瀬常務理事から、鎌倉の文化財保存を目的とする市民団体から、大倉幕府跡の問題についての連続フォーラムにおける後援依頼のメール問合せがあったが、改めて正式な依頼を求めるとの説明があった。

その他

「刊行物『日本考古学年報』のWeb刊行について」、また「理事会における協会員による要望の提示について」の意見交換については、台風接近のため、9月理事会で実施することとした。

以 上